kyoceradocumentsolutions.co.jp

Kyocera PC Connect

クイックガイド⑦DX Suite 連携機能を使ってみよう

本手順書では、DX Suite 連携機能を使って簡単な操作を行う方法を説明します。

第 1 版　作成日：2026 年　7 月　31 日



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

＜事前のご確認＞

対象ソフトウェア

本クイックガイドは「Kyocera PC Connect」バージョン 1.5.0 を元に作成しています。

対象ハードウェア

「Kyocera PC Connect」は、京セラ製複合機の対象機種上でのみ動作するアプリケーションです。
以下の機種以外ではご利用できません。
また、2023 年 7 月以降の最新ファームウェアが適用されていることが必要です。
※複合機のファームウェアについては、御社ご担当の保守担当者までお問い合わせください。
＜対象機種＞
カラーA3 複合機
TASKalfa MZ7001ci/MZ7001ci W/MZ6001ci/MZ6001ci W/
MZ5001ci/MZ5001ci W/MZ4001ci/MZ4001ci W/
MZ3501ci/MZ3501ci W/MZ2501ci/MZ2501ci W
TASKalfa 7054ci/7054ci W/6054ci/6054ci W/5054ci/5054ci W
4054ci/4054ci W/3554ci/3554ci W/2554ci/2554ci W
TASKalfa 6053ci/5053ci/4053ci/3253ci/3253ci W/2553ci/2553ci W
モノクロ A3 複合機
TASKalfa MZ7001i/MZ6001i/MZ5001i
TASKalfa7004i/7004i W/6004i/6004i W/5004i/5004i W、TASKalfa 6003i/5003i
カラーA4 複合機
TASKalfa TASKalfa MA3500ci
モノクロ A4 複合機
ECOSYS MA3500cifx/MA4500ifx

A4 複合機をお使いの方へ

A3 複合機と A4 複合機では一部の機能と画面のレイアウトが異なります。
本クイックガイドは A3 複合機を基に作成されておりますが、A4 複合機をお使いの方も同様に本手順書をご利用ください。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

内容

1. 事前準備 4
2. DX Suite 連携の設定をする 8
2.1 DX Suite 連携設定画面を表示する 8
2.2 DX Suite 連携の設定をする 10
3. DX Suite 連携を使ってみよう 12
4. DX Suite 送信履歴を確認しよう 17

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

1. 事前準備

本章では、Kyocera PC Connect の DX Suite 連携機能を利用するための、事前準備について解説します。

DX Suite 連携機能を利用するためには、DX Suite で発行される認証情報および、連携対象のワークフロー情報が必要です。事前に以下の情報を確認してください。

・企業識別ドメイン
・API キー
・ワークフロー情報
※ワークフローについては作成されている前提となります。ワークフローの作成方法については以下のページを参照してください。
https://help-dxsuite.inside.ai/hc/ja/sections/8891456205209

■企業識別ドメイン
DX Suite にアクセスするための企業識別ドメインです。
企業識別ドメインは、お客様ごとに用意されたログイン URL から確認できます。
https://test.dx-Suite.com/
例）以下の場合の企業識別ドメインは、「test」です。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

■API キー

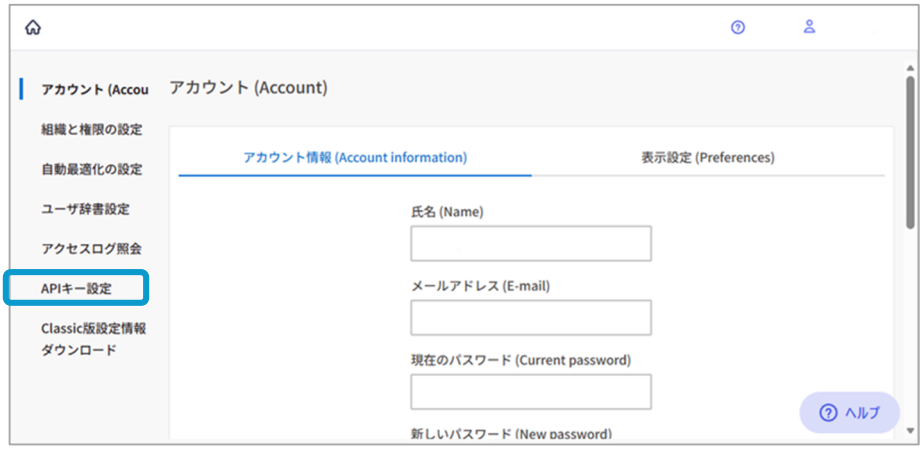
DX Suite にアクセスするための API キーです。

DX Suite の「設定」→「API キー設定」にて API キーを発行してください。発行方法は以下のとおりです。

DX Suite にログイン後、画面右上のユーザー名をクリックして「設定」を押下します。

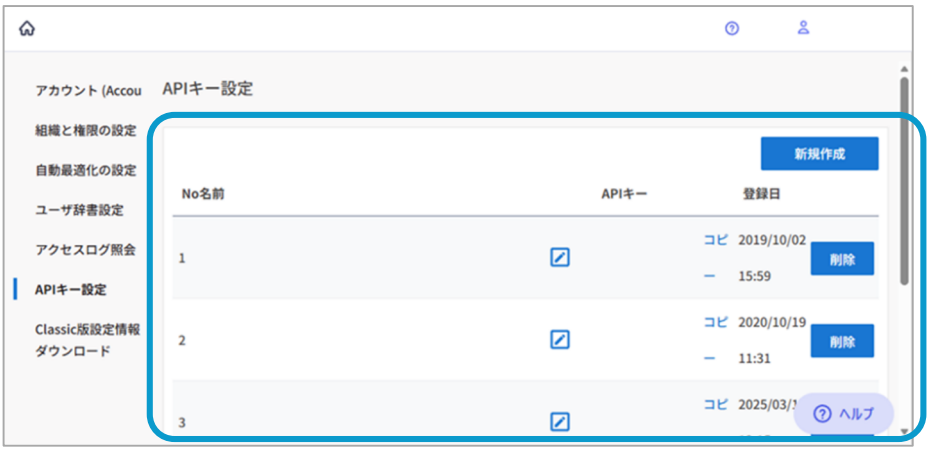


「API キー設定」を押下します。



「新規作成」を押下することで、新しい API キーが発行されます。

また、発行した API キーには管理しやすいよう任意の名称を付けることも可能です。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

■ワークフロー情報

DX Suite で作成されたワークフローの ID の確認方法は以下の通りです。





■インポートファイルの用意

以下のファイルを用意してください。

・DX_Suite_settings.csv（基本情報）

・DX_Suite_workflow1.csv（グループ 1）

・DX_Suite_workflow2.csv（グループ 2）

・DX_Suite_workflow3.csv（グループ 3）

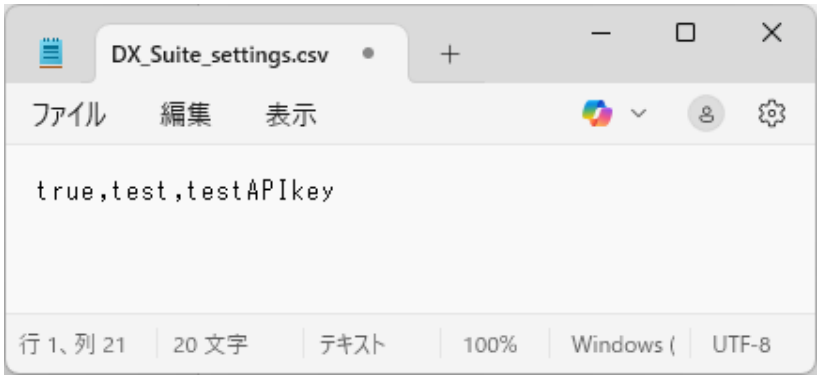
※設定したい情報のファイルのみで構いません。（DX_Suite_workflow1.csv だけなど）

※ファイルの文字コードは UTF-8（BOM 無し）で作成してください。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

■CSV ファイル記載例

DX_Suite_settings.csv



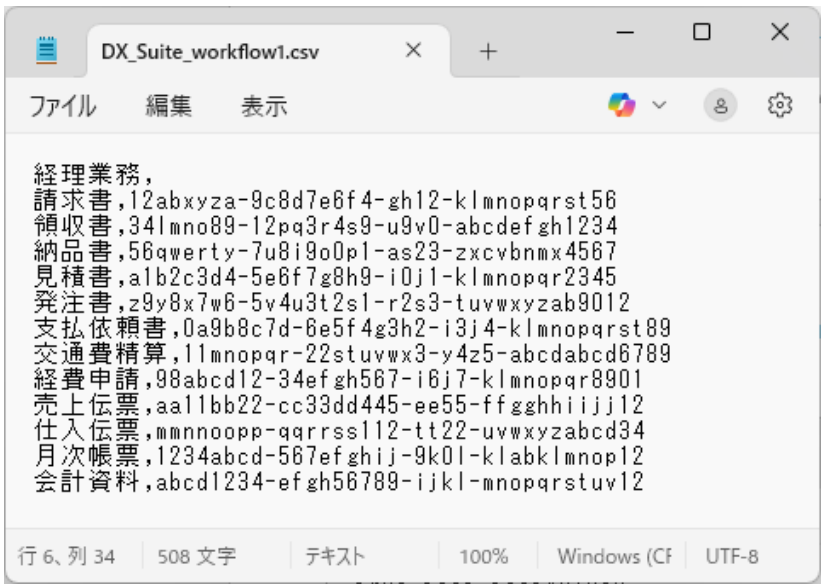
記載内容は、以下の通りです。

・連携稼働状態：true（有効）/false（停止）

・企業識別ドメイン

・API キー

DX_Suite_workflow1.csv



記載内容は、以下の通りです。

・1 行目：グループ表示名

2 行目以降：

・ワークフロー表示名，ワークフローID

※ワークフロー表示名は DX Suite のワークフロー名と同一である必要はありません。

ワークフローについては 12 個までインポートできます。13 個以上記載した場合、13 個目以降の設定は適用されません。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

2. DX Suite 連携の設定をする

本章では Kyocera PC Connect の DX Suite 連携機能について、設定方法について解説します。
DX Suite 連携の設定については以下の「DX Suite 連携設定」で行います。

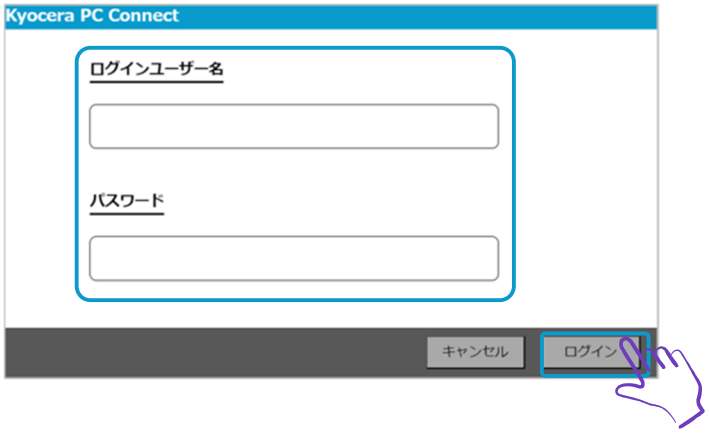
2.1 DX Suite 連携設定画面を表示する

本項では、DX Suite 設定画面の表示方法について解説します。

① トップ画面左下の「設定」ボタンを押下します。



② 権限認証画面が表示されるので、複合機の管理者ユーザーの「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。
③ 「ログイン」ボタンを押下します。

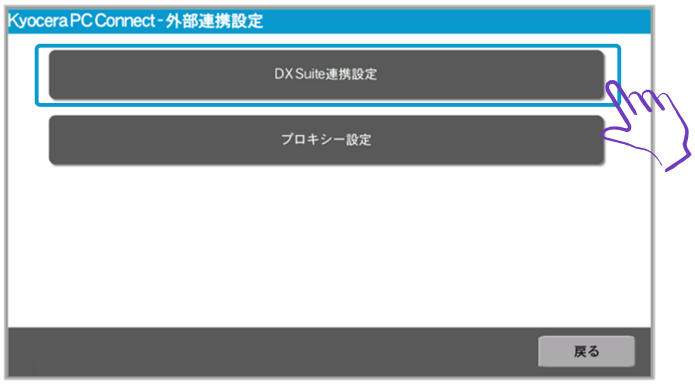


④ 管理メニュー画面が表示されるので、「外部連携設定」ボタンを押下します。

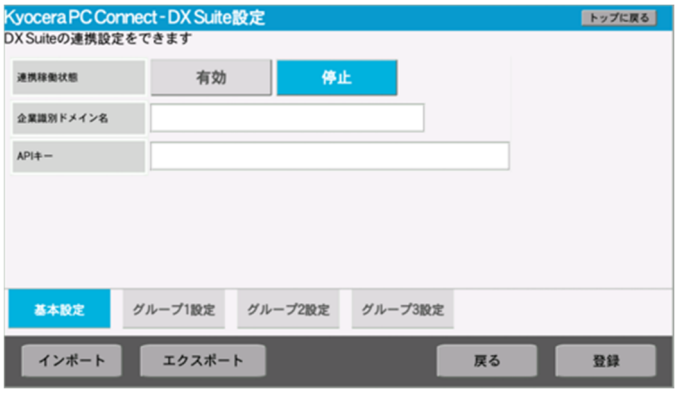


©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

⑤ 外部連携設定画面が表示されるので、「DX Suite 連携設定」ボタンを押下します。



⑥ DX Suite 設定画面が表示されます。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

2.2 DX Suite 連携の設定をする

本項では、DX Suite 設定画面における設定を解説します。

① 「1 事前準備」にて作成した以下のファイルを USB メモリー直下に保存します。

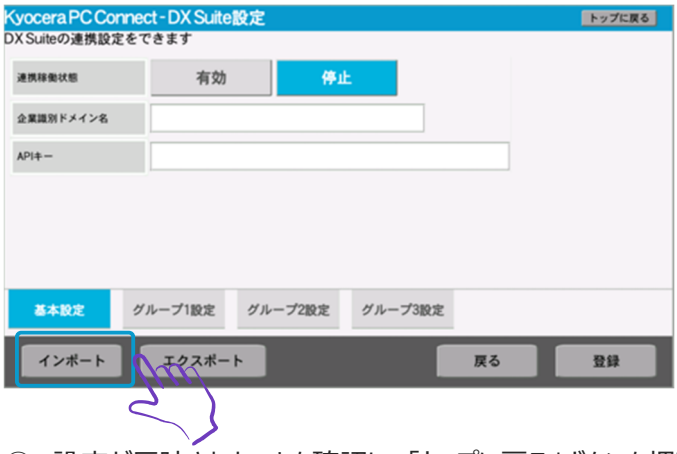
・DX_Suite_settings.csv（基本設定）

・DX_Suite_workflow1.csv（グループ 1）

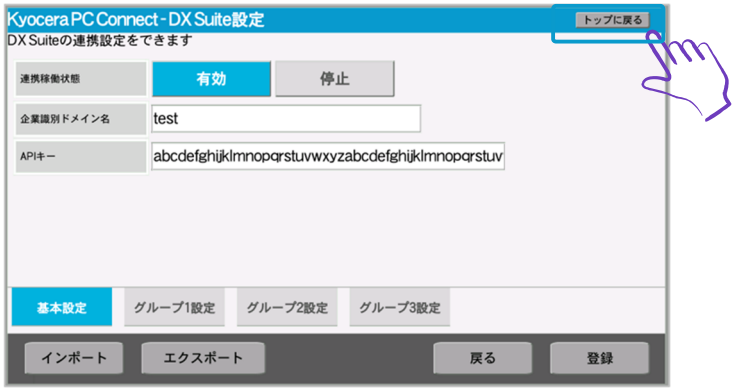
・DX_Suite_workflow2.csv（グループ 2）

・DX_Suite_workflow3.csv（グループ 3）

② DX Suite 設定画面が表示されるので、「インポート」ボタンを押下します。

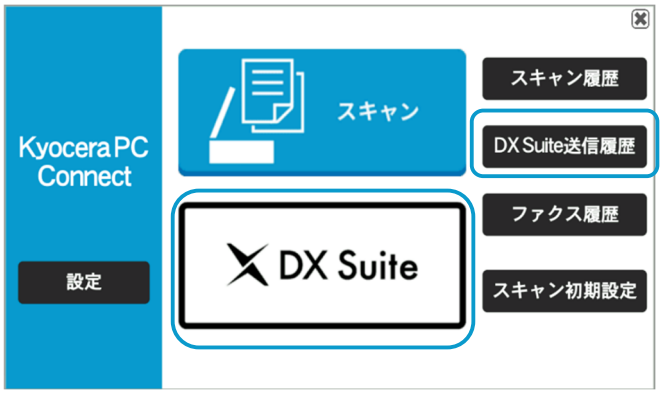


③ 設定が反映されたことを確認し、「トップに戻る」ボタンを押下します。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

④　トップ画面に「DX Suite」ボタン、「DX Suite 送信履歴」ボタンが表示されていることを確認します。

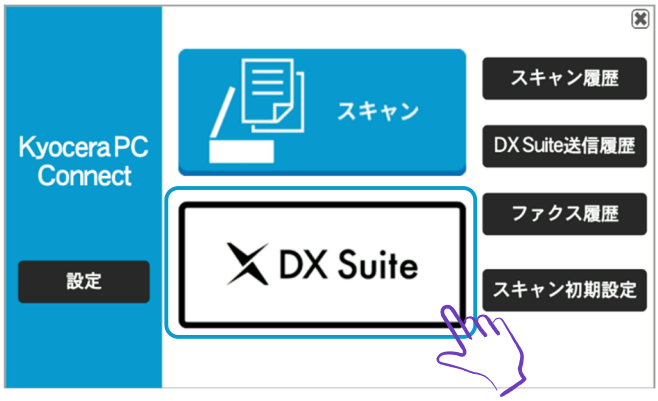


DX Suite 連携の設定は以上です。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

3. DX Suite 連携を使ってみよう

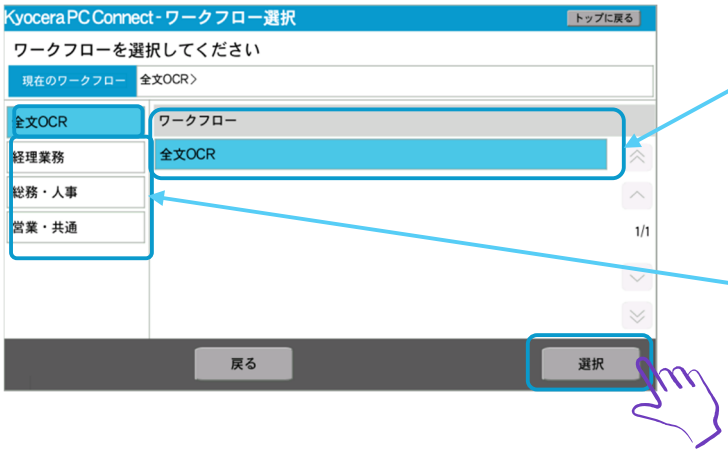
① トップ画面から「DX Suite」ボタンを押下します。



② 属性ボタン選択画面が表示されるので、「フォルダー名→ファイル名」ボタンを押下します。



③ ワークフロー選択画面が表示されるので、ワークフローを選択します。



■Point

グループ、ワークフローとして、

「全文 OCR」が初期選択されています

■ポイント

「1.3」で設定したグループが表示されます

グループを押下すると、そのグループのワークフローが

表示されます。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

④　格納先選択画面が表示されるので、格納先を選択します。

※画面例では格納先フォルダーに「10 個人」フォルダー選択



■ポイント

「クイックガイド①」で設定した格納先が

初期表示状態になっています

■ポイント

1 階層上のフォルダーを参照する場合は「上へ」ボタン、

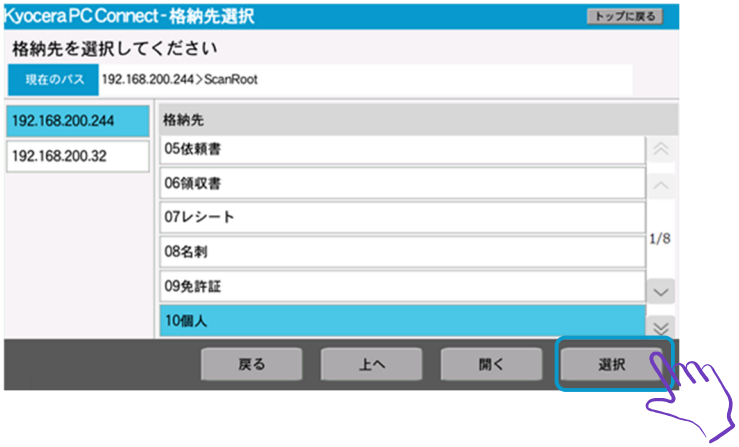
1 階層下のフォルダーを参照する場合は「開く」ボタンを押下

■ポイント

PC 転送先が複数設定されている場合は

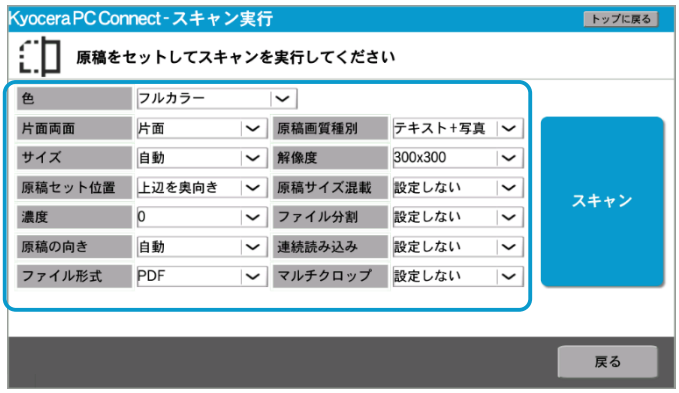
画面左部に PC 転送先一覧が表示されます

⑤　「選択」ボタンを押下します。

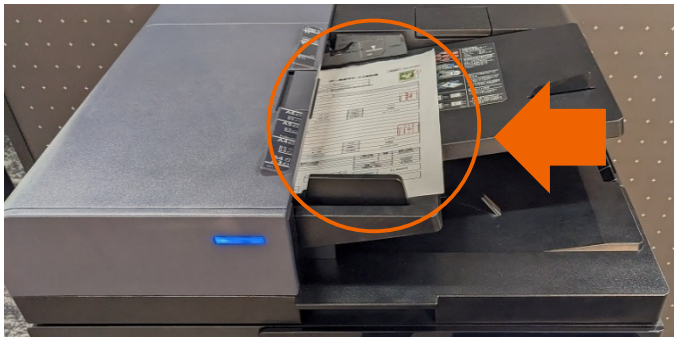


©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

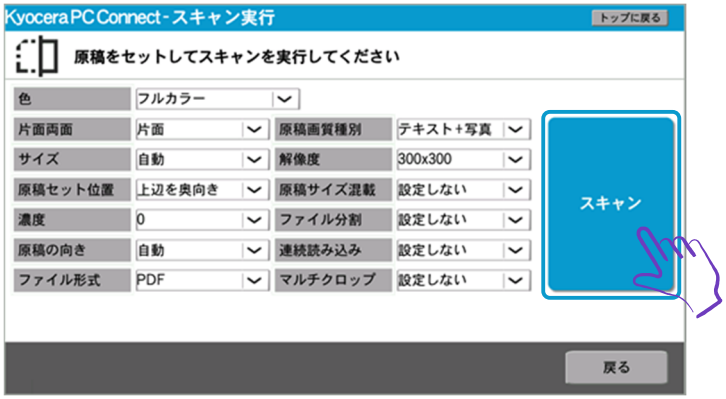
⑥　スキャン実行画面が表示されるので、スキャン条件を入力します。



⑦　複合機にスキャンする書類をセットします。

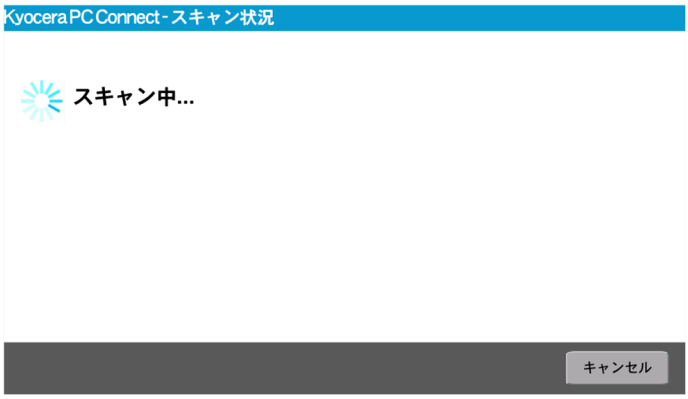


⑧　「スキャン」ボタンを押下します。

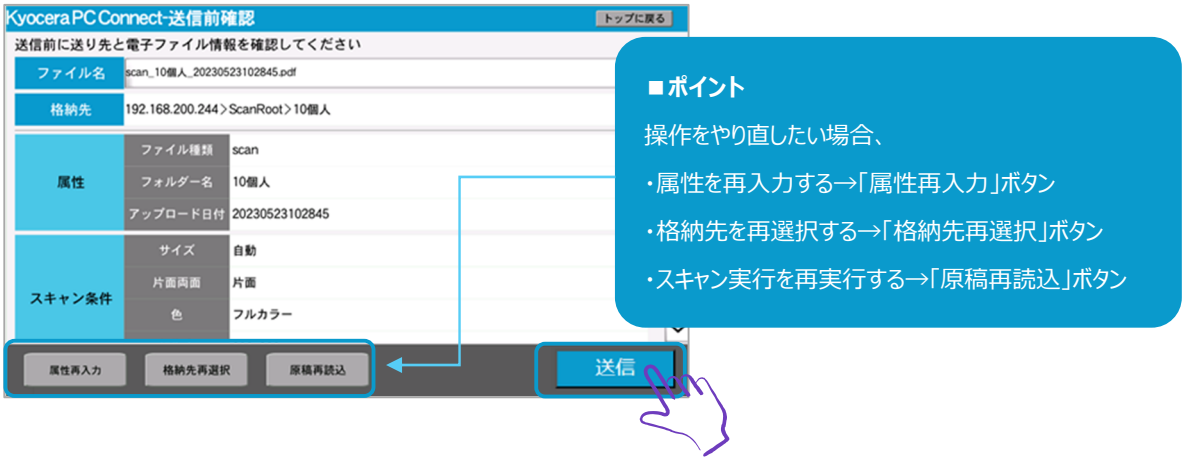


©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

⑨　スキャン実行されることを確認します。



⑩　送信前確認画面が表示されるので、「送信」ボタンを押下します。

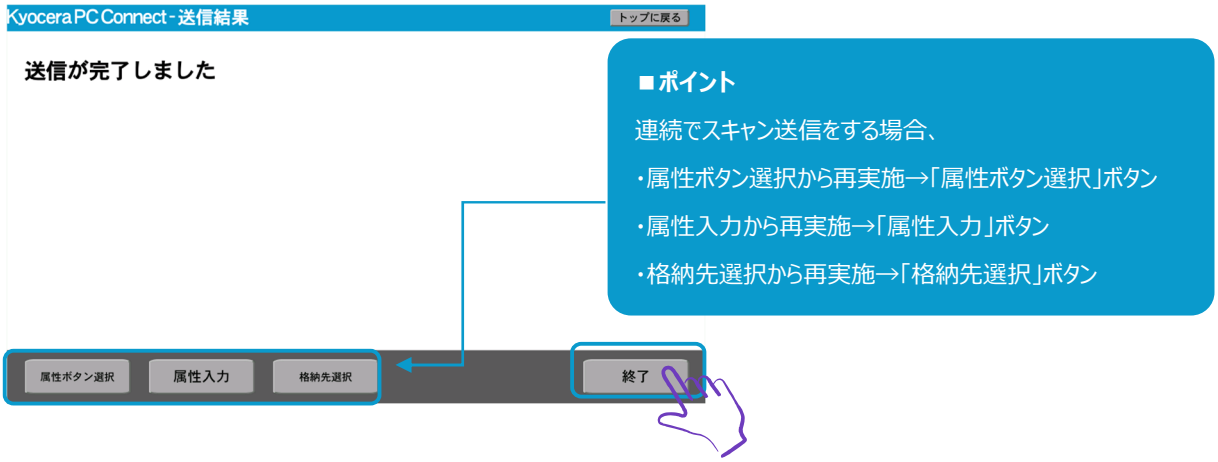


⑪　スキャン連携が実行されることを確認します。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

⑫ 送信結果画面に送信完了メッセージが表示されるので、「終了」ボタンを押下してトップ画面に戻ります。

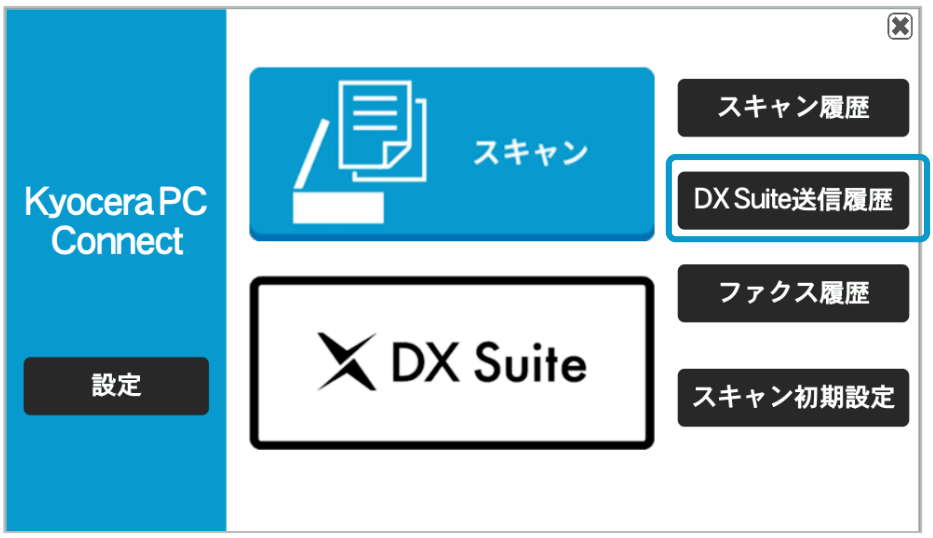


⑬ DX Suite 連携にて送信されたスキャンデータの OCR 結果ファイルは DX Suite で処理後、
格納先選択画面にて選択した格納先に送信されます。

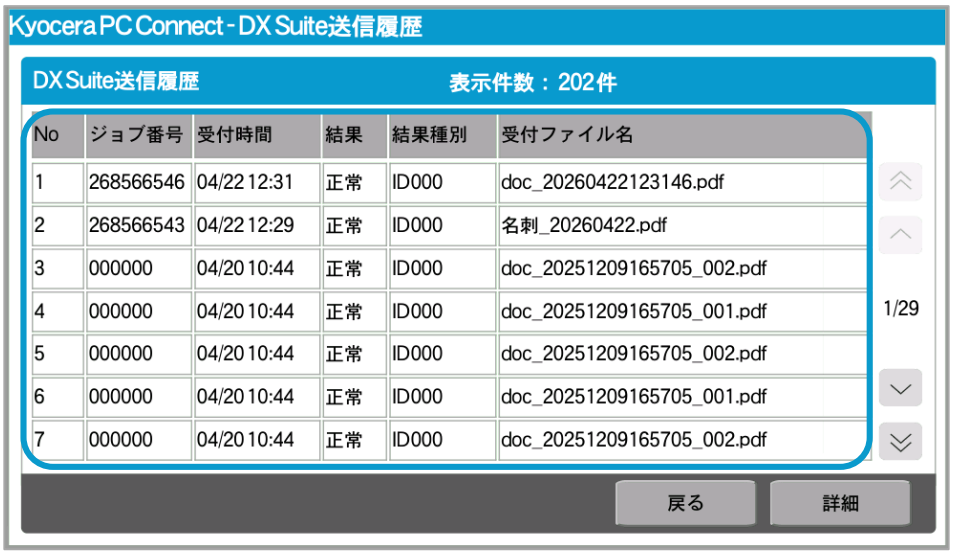
©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

4. DX Suite 送信履歴を確認しよう

① トップ画面から「DX Suit 送信履歴」ボタンを押下します。

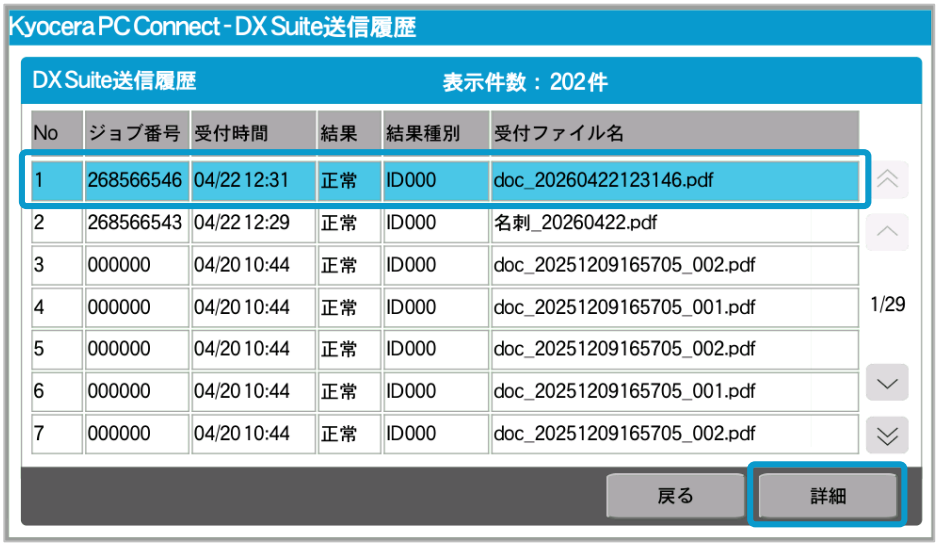


② 「DX Suite 送信履歴画面」の一覧部に、本アプリケーションにおける DX Suite 連携の送信履歴が表示されます。



©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

③ DX Suite 送信の詳細を確認したい場合は、対象の履歴を一覧部より選択し、「詳細」ボタンを押下します。







©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

■結果種別一覧

「DX Suite 送信履歴」における結果種別の一覧を記載します。

結果種別	結果種別に対するステータス
ID000	処理完了
ID001	データ化中
ID002	データチェック・コンペア中
ID003	全文読取結果取得中
ID004	サーチャブル PDF 登録中
ID005	ダウンロード試行中
ID006	SMB 送信中
WD001	データチェック・コンペア待機中 **※DX Suite にてデータチェック・コンペアを完了してください**
ED000	不明なエラー
ED001	ID なしエラー
ED002	データ化結果取得に失敗
ED003	サーチャブル PDF 登録に失敗
ED004	KPC の SMB 送信エラー
ED005	処理結果なし
ED006	タイムアウト

DX Suite 連携使用の解説は以上です。

©2026 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.